

ローリングタワー

■安全技術基準（使用基準）

- 転倒のおそれのあるとき制限高さ以下に組み替えて転倒防止措置を行い移動して下さい。
- ローリングタワーは無理な状態で作業を行わないで下さい。車輪（キャスター）のブレーキは移動の場合を除きロックさせて置き、効き具合を確認して下さい。
- シート等を張ったため風圧をうけるおそれのあるときは壁つなぎ或は控えを設けて下さい。
- 資材等は転倒防止のため偏心しないようにのせて下さい。
- ローリングタワーの上では移動はしごや脚立は使用しないで下さい。
- 作業のため手摺、幅木を外した場合は終了後速かに取付けて下さい。
- 転倒防止のため同一面より2名同時に昇降しないこと、又昇降の際、控棒の組立てに異常のないことを確認して下さい。

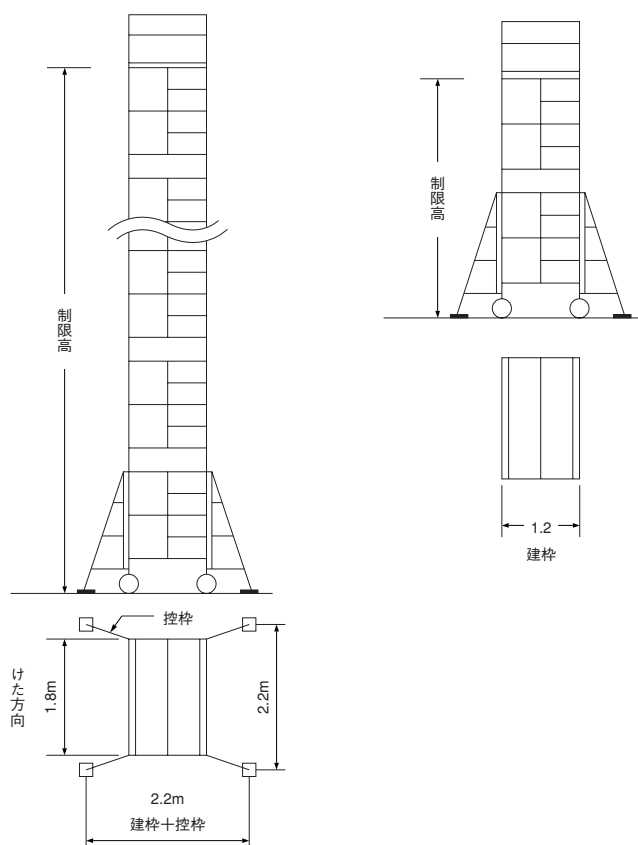
控棒は1200幅の建棒使用时2段より取付けて下さい。

控棒は1600幅の建棒使用时4段より取付けて下さい。

幅木は段数に拘らず取付けて下さい。



搭載重量 1.96KN (200kg)



建棒幅と高さの関係 (m)

$$H \leq 7.7L - 5$$

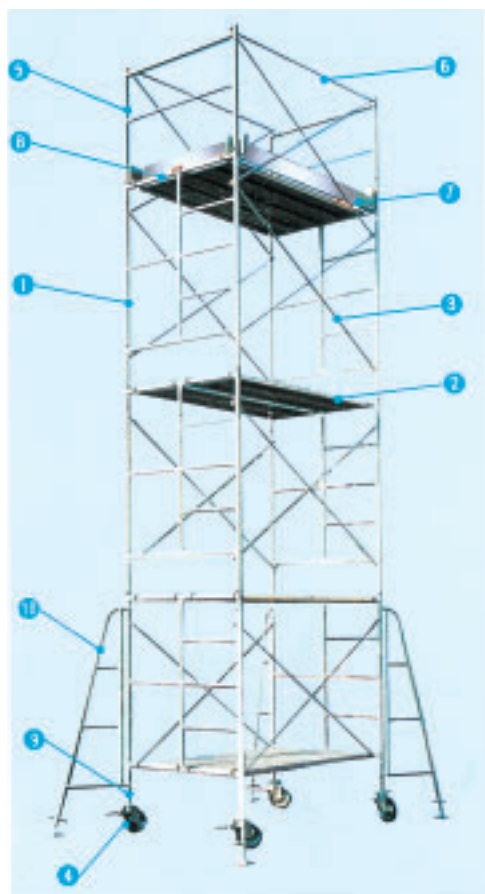
H：高さ

L：建棒幅又は建棒幅+控棒幅

1. 控棒の高さが控棒幅の3倍以上の場合。
2. 1. 以外の場合は控棒幅は1/2計算とします。

梯子型 1200幅ローリングタワー

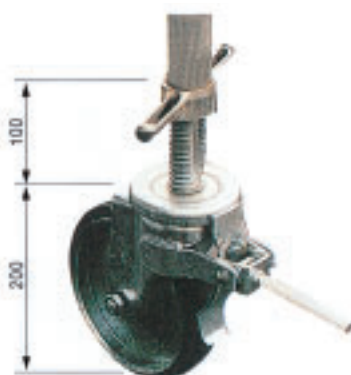
梯子型 1600幅ローリングタワー



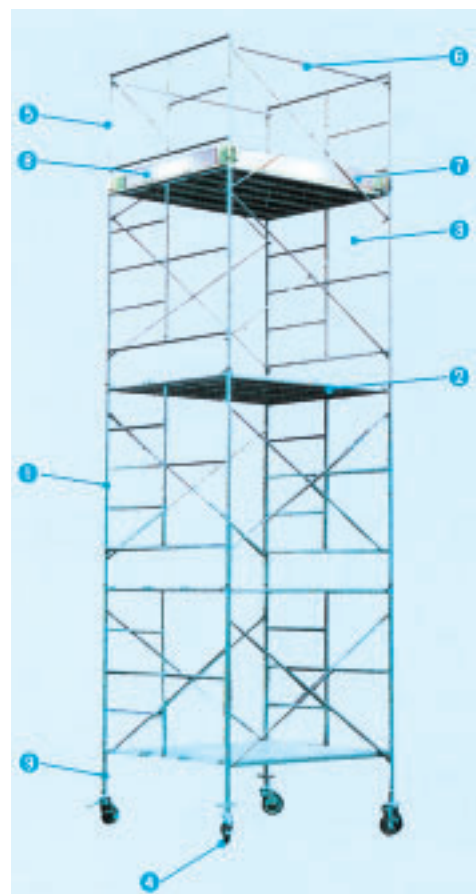
キャスター止め
クランプ



幅木端部



車輪BL-8



(梯子型) 1200幅ローリングタワー組合せ表

段数	作業床までの高さ	セット重量(kg)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			建 枠 TR-1217	床付布枠 YK-518	交さ筋かい XA-1618	車 輪 BL-8	手摺枠 HRF-129	手 摺 SB-18	幅 木 (1800) AUDH-18	幅 木 (1200) AUDH-12	キャスター 止め クランプ	控 枠 PF-517
1	2000	193.2	2	4	4	4	2	2	2	2	4	—
2	3700	319.4	4	6	6	4	2	2	2	2	4	4
3	5400	399.2	6	8	8	4	2	2	2	2	4	4
4	7100	479.0	8	10	10	4	2	2	2	2	4	4
5	8800	558.8	10	12	12	4	2	2	2	2	4	4
単位重量(kg)			19.0	16.8	4.1	7.0	9.8	2.2	2.4	1.6	0.5	11.6

※車輪の高さ=300

(梯子型) 1600幅ローリングタワー組合せ表

段数	作業床までの高さ	セット重量(kg)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
			建 枠 TR-16217	床付布枠 YK-518	交さ筋かい XA-1618	車 輪 BL-8	手摺枠 HRF-1620	手 摺 SB-18	幅 木 (1800) AUDH-18	幅 木 (1600) AUDH-16	キャスター 止め クランプ	控 枠 PF-517
1	2000	254.8	2	6	4	4	2	2	2	2	4	—
2	3700	364.6	4	9	6	4	2	2	2	2	4	—
3	5400	474.4	6	12	8	4	2	2	2	2	4	—
4	7100	630.6	8	15	10	4	2	2	2	2	4	4
5	8800	740.4	10	18	12	4	2	2	2	2	4	4
単位重量(kg)			25.6	16.8	4.1	7.0	16.3	2.2	2.4	2.2	0.5	11.6